

2. ゼロベースにした富田林市立幼稚園・保育所のあり方の検討状況について
- ①未就園児クラスを週に2日のところを5日に増やすことを検討して頂きたい。
 - ②子育て世代の利便性向上のため公立幼稚園バスの運行の可能性について。
 - ③幼稚園の跡地を地域の集いの場として再利用・活用すべく検討を。

【答弁】

2. ゼロベースにした富田林市立幼稚園・保育所のあり方の検討状況についての①から③につきまして順次お答えいたします。

はじめに、①についてお答えいたします。

富田林市立幼稚園・保育所のあり方につきまして、新たな方向性をお示しするにあたり、保護者の皆さん及び地域の皆さんから直接ご意見をお聴きするため、タウンミーティングを市立幼稚園10園及び市役所で開催し、延べ212人の方に参加をしていただき、様々なご意見をいただきました。

その中で、昨年お示した市立幼稚園・保育所のあり方基本方針（素案）において、令和2年4月から3年保育を実施予定としていた園の地域の方からは、「昨年の素案で、来年度から3年保育が実施されると思っていたのに、ゼロベースで見直すこととなり、今からでは園選びができない」などのご意見をいただいております。素案をゼロベースで見直すことによる影響は大きいと認識しております。

現在、本市では、各幼稚園がそれぞれ独自に未就園児のクラスを実施しておりますが、議員からのご提案も含めて、市として、少しでも園で過ごす時間を多く持てるような未就園児クラスの充実についても検討してまいりたいと考えております。

次に、②③についてお答えいたします。

市立幼稚園の今後につきましては、現在どのような方向で進めて行くのかを検討しているところでございます。

バスの運行につきましては、タウンミーティングでも、廃園となる場合は、保護者の利便性向上のため送迎バスの運行を希望されるご意見をいただいております。

また、市立幼稚園が廃園となった場合の跡地利用につきましては、これまでから全く違う施設に変わる事の不安や心配のご意見、これから富田林市を担う子どものために使ってほしいとのご意見をいただいております。事前に地域への説明も求められております。

これらのご意見を踏まえまして、市立幼稚園・保育所のあり方につきましては、今年度末までに今後の方向性をお示しいたします。